

事例2

< 事例概要 >

- ・胸腹部大動脈人工血管置換術後の60歳代の患者。死亡時画像診断（Ai）有、解剖有。
- ・転倒・転落歴 無。抗凝固薬内服中。頻尿・夜間排泄行動 有。
- ・転倒・転落リスク評価 実施。予防対策として、ベッドの高さを調整、3点柵を使用。
- ・術後からふらつきがあり、理学療法開始。術後24日目、体重測定の際に尻もちをついて、後頭部を打撲。声掛けに反応あり、指示動作は可能。直後にCT実施。外傷性くも膜下出血、脳挫傷性脳内出血と診断。その後も経過観察のため、複数回CT実施。転倒・転落10日後死亡。